

I 京都府自殺対策推進計画に基づく施策の実施状況（概要）

1 自殺の問題に関する理解の促進と取組の推進

(1) 府民の理解の促進

- 自殺予防週間（9月10日から16日まで）、京都いのちの日（3月1日）、自殺対策強化月間（3月）における集中的な広報啓発活動等を実施し、府民の自殺の問題に関する関心と理解を深める取組を実施

【自殺予防週間の取組】

- 「ライフin灯(ライト)きょうと2021」の開催 <令和3年度>

	日時・場所	内容	参加団体(共催)
1	令和3年9月3日(金) <第1部>16:00~18:00 ゼスト御池河原町広場 <第2部>19:00~20:00 京都市役所前広場	自殺予防週間PRのため、啓発活動を実施する。 <第1部> (同左) パネル展示等 <第2部> (同左) LEDキャンドルの点灯	・こころのカフェきょうと ・京都自死・自殺相談センター ・学生団体SMILE ・京都市 ・京都府(地域福祉推進課, 精神保健福祉総合センター)

【京都いのちの日の取組】

- 「京都いのちの日」メッセージ展 <令和3年度>

	日時・場所	内容
1	令和4年3月1日(火)、 10:00~17:00 イオンモールKYOTO Sakura館 2階	若者(大学生)の参画を受け、民間団体と連携し、広く府民にいのちの大切さを発信する。 ・メッセージボードの作成、展示 ・パネル展示等による相談・支援先の紹介 ・カウンセリング体験、クイズラリーは新型コロナ感染拡大防止のため中止

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、府内の相談・支援機関で組織した「京のいのち支え隊」による一斉街頭啓発などの広報啓発活動等は中止

【自殺対策強化月間の取組】

<令和3年度：ラジオ・テレビによる広報>

	実施日	媒体	番組名	放送内容
1	令和4年2月21日~27日	KBSラジオ	きょうとほっと情報	京都いのちの日メッセージ展
2	令和4年2月15日	KBSラジオ	京都トークRUN	京都府の自殺対策等について

<令和3年度実績：自殺対策強化月間相談会：事務局把握分>

	実施日	主催者	内容等
1	令和4年2月27日(日)	京都市	丹後くらしとこころの総合相談会

● 学校における自殺予防を目的とした教育の実施を促進した。(一部オンライン授業)

<令和3年度実績：いのちとこころのコミュニケーション事業>

	実施日	団体・機関名	実施校	区分
1	令和3年10月26日(火)	鳴門教育大学予防教育科学センター	長岡第六小学校(長岡京市)	小学校
2	令和3年11月2日(火)	ふくちやまCAP	千代川小学校(亀岡市)	
3	令和3年11月4日(木)	ふくちやまCAP	庵我小学校(福知山市)	
4	令和3年11月12日(火)	京都弁護士会	寺田南小学校(城陽市)	
5	令和3年11月24日(水)	京都府臨床心理士会	長岡第七小学校(長岡京市)	
6	令和3年12月1日(水)	京都地方法務局	新舞鶴小学校(舞鶴市)	
7	令和4年1月21日(金)～	鳴門教育大学予防教育科学センター	丹後小学校(京丹後市)	
8	令和3年9月22日(水)	京都府臨床心理士会	加悦小学校(与謝野町)	
9	令和3年10月12日(火)	鳴門教育大学予防教育科学センター	栗田中学校(宮津市)	中学校
10	令和3年10月21日(木)	京都府臨床心理士会	園部中学校(南丹市)	
11	令和3年10月29日(金)	京都府臨床心理士会	北宇治中学校(宇治市)	
12	令和3年11月15日(月)	リヴオン	青葉中学校(舞鶴市)	
13	令和3年12月13日(月)	京都府臨床心理士会	瑞穂中学校(京丹波町)	
14	令和3年10月26日(火)	京都府臨床心理士会	京都西山高校(向日市)	高校
15	令和3年11月17日(水)	京都弁護士会	京都共栄学園高校(福知山市)	
16	令和4年2月3日(木)	京都司法書士会	綾部高校東分校(綾部市)	

(2) 自殺対策関係団体等の活動に対する支援

- 自殺対策に取り組む民間団体等の行う自死遺族のための分かち合いの会、悩みを抱えた方の居場所づくり、電話相談、人材育成等の取組に対する支援を実施した。(重点)

<令和3年度実績：民間団体に対する自殺対策事業費補助金による取組支援>

	団体名	主な取組
1	(社福) 京都いのちの電話	・電話相談、相談員研修、外部向け講演会、傾聴体験講座
2	こころのカフェきょうと	・わかち合いの会、グリーフケア等の研修会、普及啓発イベント、・自死遺族支援情報等の提供、遺族交流会
3	(認定特非) 京都自死・自殺相談センター	・自殺のハイリスク者・未遂者を対象とした居場所づくり、映画の集い ・自死遺族等の個別面談
4	(一財) リヴオン	・オンラインの居場所「ほっと集い場京都」、 若者のグリーフケアプログラム連続講座
5	ほっこりスペース無相堂運営委員会	・居場所づくり、電話相談
6	癒やしのカフェ通仙亭運営委員会	・居場所づくり
7	(一社) 京都府臨床心理士会	・心の健康及び自殺対策に関するシンポジウム
8	(特非) チャイルドライン京都	・子ども電話事業、受け手ボランティア養成講座、普及啓発カード作成
9	学生団体SMILE	・若者の居場所事業「大学生Miles」チラシ作成

- 新型コロナウイルス感染症の拡大の状況により、民間団体の活動内容や運営ノウハウの情報共有、団体相互間の連携、人材養成等を図る支援人材交流会は中止し、民間団体の活動内容を紹介したタペストリー・チラシを作成し、啓発イベントで活用

2 自殺の背景となる要因の軽減のための取組の推進

(1) 人材養成

- 行政職員や保健福祉関係者、府民の日常生活に密接に関わるサービスを行う事業所関係者など広く府民を対象とするゲートキーパー研修を実施した。(重点)

<令和3年度実績：府内で実施されたゲートキーパー養成研修：一部オンライン>

区分	対象者	養成数	備考
一般	地域住民等	221人	
行政	職員等	643人	
保健福祉関係	民生委員、施設職員、訪問看護ヘルパー等	489人	
医療	看護師、薬剤師、医療従事者等	112人	
その他	育児支援ヘルパー等	88人	
計	—	1,553人	平成24年度からの累計35,288人

- 若者の自殺対策の強化の一環として、「京都府自死対策カレッジ会議（仮称）」を立ち上げた。各大学から学生に参加いただき、自死対策を学び、若者の自死対策について大学生の視点で、各大学等でできる取組を考え行動に移すことを内容とし、京都いのちの日の自殺対策啓発イベントにも参画(重点)

<令和3年度実績：京都府自死対策カレッジ会議（仮称）>

	開催日・内容	参加者
1	第1回 令和3年10月29日(金) ・設立の趣旨、自殺の状況 ・主な取組 等	河瀬雅紀 京都ノートルダム女子大学名誉教授 黒川雅代子 龍谷大学短期大学武 教授 参加大学:京都ノートルダム女子大学 京都女子大学 龍谷大学 (令和4年2月現在)
2	第2回 令和3年12月3日(金) ・自殺対策への学生の意見 ・自殺対策啓発イベント「京都いのちの日」メッセージ展への参画について 等	
3	第3回 令和4年1月28日(金) ・自殺対策啓発イベント「京都いのちの日」メッセージ展への取組について 等	
4	第4回 令和4年2月18日(金) ・講演会 テーマ:「自殺対策について学ぶ」 講師:府精神保健福祉総合センター所長 ・自殺対策啓発イベント「京都いのちの日」メッセージ展への取組について 等	

(2) 職域、学校、地域における体制整備

- 企業等に対し、臨床心理士、弁護士、社会保険労務士を派遣してメンタルヘルス対策等の専門的な支援を実施した。

<令和3年度実績：職場のメンタルヘルス等向上事業>

	実施日	派遣先団体（所在地）	形式・参加者数
1	令和3年12月21日(火)	ジャパンマリンユナイテッド舞鶴事業所（舞鶴市）	対面・42人
2	令和3年12月22日(水)	京丹後市商工会（京丹後市）	対面・4人
3	令和4年1月6日(木)	株式会社ジェイエムエンジニアリング（久御山町）	オンライン・33人
4	令和4年1月18日(火)	十川産業株式会社京都工場（南丹市）	オンライン・10人
5	令和4年2月24日(木)	社会福祉法人はしうど福祉会特別養護老人ホーム いちがお園（京丹後市）	オンライン・14人
6	令和4年2月24日(木)	京都弁護士会（京都市）	ハイブリッド・13人
7	令和4年2月25日(金)	社会福祉法人京都老人福祉協会（京都市）	オンライン・28人
8	令和4年3月9日(水)	社会福祉法人信和会主の家（亀岡市）	対面・8人
9	令和4年3月16日(水)	株式会社GSユアサ長田野事業所（福知山市）	対面・37人
10	令和4年3月25日(金)	社会福祉法人日吉たには会（南丹市）	オンライン・15人
	計		204人

3 自殺の原因・背景に対応した支援体制等の整備

(1) 連携体制の整備

- 生活困窮者自立支援制度、生活保護制度、雇用支援対策等の支援施策・制度との庁内連携体制を確認した。

<令和3年度実績：自殺対策推進庁内プロジェクトチーム会議>

日時	場所	概要
令和4年3月10日（木）	—	自殺対策推進計画に基づく実施状況について（通知）

(2) 自殺発生の危機対応

- 自殺関連専門相談窓口として自殺ストップセンターにおいて、電話、面接及び市町村・自殺対策に取り組む民間団体等との連携対応等により、希死念慮者、自殺企図者等のハイリスク者への支援を実施した。

<令和3年度：自殺ストップセンターにおける相談件数>

電話相談	対面相談※	他機関連携	計	備考
1,469件	13件(1)	81件	1,563件	新規相談者数 744人

※対面相談の（ ）書きはのちのサポートチームとして対応した件数

- SNS相談を「京都府こころのライン相談(コロナ関連)」として実施し、令和3年度は、1,063件の相談が寄せられた。(令和2年7月31日(金曜日)に開始し、令和2年度は、653件の相談)(重点)

- パソコンやスマートフォンの検索画面で、「死にたい」「自殺」といった予め指定したワードを検索したときに、検索結果画面に京都府自殺ストップセンターの広告を表示させ、それをクリックすると京都府自殺ストップセンターの詳細を表示したサイトに繋がるなどインターネットでの広報を実施
- 自死遺族が直面する法的な手続き等に対する支援人材を養成するなど、自殺ストップセンターの寄り添い支援機能を強化した。

<令和3年度実績：自死遺族サポーター養成研修>

日時	養成数	備考
令和3年10月24日(日)	9人	弁護士、司法書士及び警察官を対象に実施

(3) 自殺未遂者に対する支援

- 自殺対策に取り組む民間団体との連携の下に、自殺未遂者等のハイリスク者を対象とした居場所づくりを実施した。

<令和3年度実績：自殺未遂者等のハイリスク者を対象とした居場所>

実施主体	名称	概要	参加者数
(認定特非) 京都自死・自殺相談センター	Sottoおでんの家	自殺未遂者や死にたいほどの悩みを抱えた方を対象に居場所を設置(全12回開催)	118人
	ごろごろシネマ	死にたい気持ちを抱える人が、映画を見ながららくつろげる居場所を設置(全10回開催)	18人

(4) 自死遺族等に対する支援

- 自殺対策に取り組む民間団体との連携の下に、自死遺族のための分かち合いの会や、悩みを抱えた方の居場所づくり等を実施した。(重点)

<令和3年度実績：自死遺族・自死遺児や悩みを抱えた方のための居場所>

団体名	主な取組
こころのカフェきょうと	・例会(4月、9月、12月を除く) 毎月第2土曜日(8回開催)
(一財) リヴオン	・大切な人を亡くした若者のつどいば(オンラインにより7回開催)
ほっこりスペース無相堂運営委員会	・悩みを抱えた方の居場所(10回開催)
癒しのカフェ通仙亭運営委員会	・悩みを抱えた方の居場所(12回開催)
京都府地域福祉推進課	・京風 Café de Monk「きょうのモンク」(自殺対策強化月間中に1回開催)

- 超宗派・超宗教的な立場から心のケアを実践する臨床宗教師を養成する大学と連携し、臨床宗教師が自死遺族のための傾聴活動を行う居場所づくりを行った。(重点)

<令和3年度実績：臨床宗教師による自死遺族のための居場所 京風Café de Monk「きょうのモンク」>

	実施日	場所	備考
1	令和4年2月27日(日)	京丹後市	南部会場は中止

I 京都府自殺対策推進計画に基づく施策の実施状況（概要）

1 自殺の問題に関する理解の促進と取組の推進

(1) 府民の理解の促進

- 自殺予防週間（9月10日から16日まで）、京都いのちの日（3月1日）、自殺対策強化月間（3月）における集中的な広報啓発活動等を実施し、府民の自殺の問題に関する関心と理解を深める取組を実施

【自殺予防週間の取組】

- 「ライフin灯(ライト)きょうと2022」の開催 <令和4年度>

	日時・場所	内容	参加団体(共催)
1	令和4年9月8日(木) <第1部>16:00~18:00 ゼスト御池河原町広場 <第2部>19:00~20:00 京都市役所前広場	自殺予防週間PRのため、啓発活動を実施する。 <第1部> (同左) パネル展示等 <第2部> (同左) LEDキャンドルの点灯 (雨天のため中止)	・こころのカフェきょうと ・京都自死・自殺相談センター ・学生団体SMILE ・京都市 ・京都府(地域福祉推進課, 精神保健福祉総合センター)

【京都いのちの日の取組】

- 「京都いのちの日」メッセージ展 <令和4年度>

	日時・場所	内容
1	令和5年3月1日(火)、 2日(水) 10:00~17:00 イオンモールKYOTO Sakura館 1階	若者(大学生)の参画を受け、民間団体と連携し、広く府民にいのちの大切さを発信する。 ・メッセージボードの作成、展示 ・パネル展示等による相談・支援先の紹介 ・カウンセリング体験、ストレスチェック、スタンプラリー(予定)

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、府内の相談・支援機関で組織した「京のいのち支え隊」による一斉街頭啓発などの広報啓発活動等は中止

【自殺対策強化月間の取組】

- 京都いのちの日関連事業 <令和4年度：自殺対策強化月間関連>

	実施日	内容	形式・定員
1	令和5年3月5日(日)	丹後くらしとこころの総合相談会	対面相談(会場野田川わーくぱる)
2	令和5年3月9日(木)	ゲートキーパーフォローアップ研修	対面 定員24名

<令和4年度：ラジオ・テレビによる広報>

	実施日	媒体	番組名	放送内容
1	令和5年2月20日~26日	KBSラジオ	きょうとほっと情報	京都いのちの日メッセージ展
2	令和5年2月19日	KBSテレビ	おはよう!輝き世代	京都いのちの日メッセージ展

<令和4年度：自殺対策強化月間相談会（予定含む）>

	実施日	主催者	内容等
1	令和4年9月4日(日)	京都府	丹後くらしとこころの総合相談会
2	令和5年3月5日(日) (予定)	同上	同上

○ 府内郵便局に自殺ストップセンターチラシを配架依頼

● 学校における自殺予防を目的とした教育の実施を促進した。(一部オンライン授業)

<令和4年度：いのちとこころのコミュニケーション事業（予定含む）>

	実施日	団体・機関名	実施校	区分
1	令和4年11月1日(火)	鳴門教育大学予防教育科学センター	丹後小学校(京丹後市)	小学校
2	令和4年12月16日(金)	鳴門教育大学予防教育科学センター	松井ヶ丘小学校(京田辺市)	
3	令和4年12月20日(火)	京都弁護士会	宇治田原小学校(宇治田原町)	
4	令和4年11月14日(月)	鳴門教育大学予防教育科学センター	久御山中学校(久御山町)	中学校
5	令和5年2月下旬～3月上旬	リヴオン	青葉中学校(舞鶴市)	
6	令和5年1月11日(水)	京都地方法務局	綾部高校由良川キャンパス(綾部市)	高校

(2) 自殺対策関係団体等の活動に対する支援

● 自殺対策に取り組む民間団体等の行う自死遺族のための分かち合いの会、悩みを抱えた方の居場所づくり、電話相談、人材育成等の取組に対する支援を実施。(重点)

<令和4年度交付決定団体：民間団体に対する自殺対策事業費補助金による取組支援>

	団体名	主な取組
1	(社福) 京都いのちの電話	・電話相談、相談員研修、外部向け講演会、傾聴体験講座
2	こころのカフェきょうと	・わかち合いの会、グリーフケア等の研修会、普及啓発イベント、・自死遺族支援情報等の提供、遺族交流会
3	(認定特非) 京都自死・自殺相談センター	・自殺のハイリスク者・未遂者を対象とした居場所づくり、映画の集い ・自死遺族等の個別面談
4	(一財) リヴオン	・居場所「大切な人を亡くした若者のつどいば」
5	ほっこりスペース無相堂運営委員会	・居場所づくり、電話相談、講演会
6	癒やしのカフェ通仙亭運営委員会	・居場所づくり
7	(一社) 京都府臨床心理士会	・心の健康及び自殺対策に関するシンポジウム
8	(特非) チャイルドライン京都	・子ども電話事業、受け手ボランティアスキルアップ研修、普及啓発カード作成、配布

● 新型コロナウイルス感染症の拡大の状況により、民間団体の活動内容や運営ノウハウの情報共有、団体相互間の連携、人材養成等を図る支援人材交流会は中止し、民間団体の活動内容を紹介したタペストリー・チラシを京都いのちの日メッセージ展等のイベントで活用

2 自殺の背景となる要因の軽減のための取組の推進

(1) 人材養成

- 行政職員や保健福祉関係者、府民の日常生活に密接に関わるサービスを行う事業所関係者など広く府民を対象とするゲートキーパー研修を実施した。(重点)

<令和4年度：ゲートキーパー養成研修（予定含む）>

	実施日	内容	形式・参加者数 (定員各回25名)
1	令和4年12月11日(日)	ゲートキーパー養成研修	オンライン・23名
2	令和4年12月15日(木)	ゲートキーパー養成研修	オンライン・17名
3	令和5年3月9日(木)	フォローアップ研修	対面(予定)

- 若者の自殺対策の強化の一環として、令和3年度に立ち上げた「京都府自死対策カレッジ会議」を推進した。府内の各大学から学生に参加いただき、自死対策を学び、若者の自死対策について大学生の視点で、取組を考え行動に移すことを内容とする。京都いのちの日の自殺対策啓発イベントにも参画(重点)

<令和4年度：京都府自死対策カレッジ会議（予定含む）>

	開催日・内容	参加者
1	第1回 令和4年10月18日(火) ・設立の趣旨、自殺の状況 ・主な取組 等	河瀬雅紀 京都ノートルダム女子大学名誉教授 黒川雅代子 龍谷大学短期大学武 教授 参加大学:京都ノートルダム女子大学 龍谷大学 京都文教大学 京都橘大学 京都府立大学 (令和5年2月現在)
2	第2回 令和4年11月8日(火) ・自殺対策についての各大学での取組について ・自殺対策啓発イベント「京都いのちの日」メッセージ展への参画について 等	
3	学習会 令和4年11月22日(火) テーマ:「自死で親をなくした子ども・若者を支える活動から」 講師:一般社団法人リブオン代表理事尾角光美氏	
4	第3回 令和4年12月13日(火) ・自殺対策啓発イベント「京都いのちの日」メッセージ展への取組について 等	
5	第4回 令和5年1月17日(火) ・自殺対策啓発イベント「京都いのちの日」メッセージ展への取組について 等	
6	第5回 令和5年2月17日(金) ・自殺対策啓発イベント「京都いのちの日」メッセージ展への取組について 等	

(2) 職域、学校、地域における体制整備

- 企業等に対し、臨床心理士、弁護士、社会保険労務士を派遣してメンタルヘルス対策等の専門的な支援を実施予定

<令和4年度：職場のメンタルヘルス等向上事業（予定含む）>

	実施日	派遣先団体（所在地）	形式・参加者数
1	令和5年1月13日（金）	社会福祉法人日吉たには会（南丹市）	オンライン・17人
2	令和5年2月16日（木）	株式会社GSユアサ長田野事業所（福知山市）	（対面）
3	令和5年2月17日（金）	社会福祉法人はしうど福祉会特別養護老人ホーム いちがお園（京丹後市）	（オンライン）
4	令和5年2月17日（金）	十川産業株式会社京都工場（南丹市）	（オンライン）
5	令和5年3月2日（木）	京都弁護士会（京都市）	（オンライン）
6	令和5年3月10日（金）	社会福祉法人京都老人福祉協会（京都市）	（ハイブリッド）

3 自殺の原因・背景に対応した支援体制等の整備

(1) 連携体制の整備

- 生活困窮者自立支援制度、生活保護制度、雇用支援対策等の支援施策・制度の実施状況や庁内連携体制等を確認。

<令和4年度実績：自殺対策推進庁内プロジェクトチーム会議>

日時	場所	概要
令和5年3月（予定）	書面開催	自殺対策推進計画に基づく実施状況について等（通知）

(2) 自殺発生の危機対応

- 自殺関連専門相談窓口として自殺ストップセンターにおいて、電話、面接及び市町村・自殺対策に取り組む民間団体等との連携対応等により、希死念慮者、自殺企図者等のハイリスク者への支援を実施した。

<令和4年度1月末現在：自殺ストップセンターにおける相談件数>

電話相談	対面相談※	他機関連携	計	備考
2,810件	2件(2)	41件	2,853件	新規相談者数 1,221人

※対面相談の（ ）書きはのちのサポートチームとして対応した件数

- SNS相談を「京都府こころのライン相談(コロナ関連)」として実施し、令和4年4月から令和5年1月までの間に、965件の相談が寄せられた。（令和2年7月31日(金曜日)に開始し、令和2年度は653件、令和3年度は1,063件の相談）（重点）
- 自死遺族が直面する法的な手続き等に対する支援人材を養成するなど、自殺ストップセンターの寄り添い支援機能を強化した。

<令和4年度実績：自死遺族サポーター養成研修>

日時	養成数	備考
令和4年10月22日（土）	7人	弁護士、司法書士及び警察官を対象に実施

- パソコンやスマートフォンの検索画面で、「死にたい」「自殺」といった予め指定したワードを検索したときに、検索結果画面に京都府自殺ストップセンターの広告を表示させ、それをクリックすると京都府自殺ストップセンターの詳細を表示したサイトに繋がるなどインターネットでの広報を実施

(3) 自殺未遂者等に対する支援

- 自殺対策に取り組む民間団体との連携の下に、自殺未遂者等のハイリスク者を対象とした居場所づくりを実施。

<令和4年度実施予定：自殺未遂者等のハイリスク者を対象とした居場所>

実施主体	名称	概要	予定人数
(認定特非) 京都自死・自殺相談センター	Sottoおでんの家	自殺未遂者や死にたいほどの悩みを抱えた方を対象に居場所を設置(全14回開催予定)	140人
	ごろごろシネマ	死にたい気持ちを抱える人が、映画を見ながらくつろげる居場所を設置(全12回開催予定)	100人

(4) 自死遺族等に対する支援

- 自殺対策に取り組む民間団体との連携の下に、自死遺族のための分かち合いの会や、悩みを抱えた方の居場所づくり等を実施した。(重点)

<令和4年度実施予定：自死遺族・自死遺児や悩みを抱えた方のための居場所>

団体名	主な取組
こころのカフェきょうと	・例会(4月、12月を除く) 毎月第2土曜日(10回開催予定)
(一財) リヴオン	・大切な人を亡くした若者のつどいば(12回開催予定)
ほっこりスペース無相堂運営委員会	・悩みを抱えた方の居場所(10回開催予定)
癒しのカフェ通仙亭運営委員会	・悩みを抱えた方の居場所(12回開催予定)
京都府地域福祉推進課	・京風 Café de Monk「きょうのモンク」(自殺対策強化月間中に1回開催予定)

- 超宗派・超宗教的な立場から心のケアを実践する臨床宗教師を養成する大学と連携し、臨床宗教師が自死遺族のための傾聴活動を行う居場所づくりを行った。(重点)

<令和4年度：臨床宗教師による自死遺族のための居場所 京風Café de Monk「きょうのモンク」(予定)>

	実施日	場所	備考
1	令和5年3月5日(日)	京丹後市	南部会場は中止